

沖縄県石垣市

稚内市民訪問団 友好

昭和62年9月、沖縄県石垣市と本市が友好都市を提携して以来、文化・スポーツ交流をはじめ、職員の相互派遣や観光、物産分野の相互交流などを行なって今年で35年という節目の年を迎えました。これを記念して、稚内市民訪問団「稚内市民の翼」を結成し、石垣市を訪問しました。

11月4日から8日まで、川野副市長をはじめ、市内各団体や一般で応募された市民など、稚内市民訪問団「稚内市民の翼」のメンバー21名が、石垣市を訪問しました。

11月4日は、羽田空港経由で那覇空港へ。翌5日朝、約1時間のフライトで石垣空港に到着。空港には中山義隆石垣市長をはじめ、石垣市職員の皆さんが迎え、石垣島の方言で「ようこそ、いらっしやいー」の意味の「おーりとーりー」の横断幕で熱烈的な歓迎を受けました。



石垣空港で熱烈的な歓迎を受ける市民訪問団

一行は早速、石垣市内の観光地に出発。「パンナ公園展望台」や「唐人墓」を訪れ、石垣市の歴史や文化に触れました。

午後からは、石垣市民会館にて「島まつりオーブニングセレモニー」に参加しました。



石垣市職員による余興の様子

この日の夜には、「友好都市提携35周年記念 親善・友好都市等歓迎交流会」が開催され、本市のほか、愛知県岡崎市・犬山市、岩手県北上市など、石垣市とゆかりのあるまちが集まり、記念品の贈呈や参加市の紹介のほか、石垣市職員による余興など、終始和やかな雰囲気での交流を深めました。



「世界平和の鐘」に平和の祈りを込めて

翌6日は、平和の祈りを込めて「世界平和の鐘」の記念鐘打を行い、その後、「石垣島まつり」の市民大パレードで「南極おどり」を披露し、沿道の大勢の市民から大声援を受けました。



市民大パレードで「南極おどり」を披露

また、パレード終了後には、オプションツアーに参加したり、夕食会では八重山舞踊を見ながら郷土料理を堪能するなど、笑顔で楽しんでいました。



「八重山舞踊」と「郷土料理」を堪能

石垣市訪問最終日となった7日、ホテルを出発する際に、中山市長をはじめ、石垣市関係者の皆さんに、石垣島の方言で「気を付けてお帰りください」の意味の「みすこーみすこーおーりよー」の横断幕で温かくお見送りいただきました。

訪問団一行は、今回の訪問で、今後も、石垣市との末永い交流を誓い合い、友好の絆を一層強めていきました。

全国観光PRコーナーで「幸せコンカツフェア」を開催！

稚内市と枕崎市の友好都市締結10周年を記念して、両市のコンカツプロジェクト実行委員会関係者が、11月2日から8日まで、東京都庁第一本庁舎1階南側の全国観光PRコーナーを会場に、「幸せコンカツフェア」を開催しました。



両市の特産品販売と観光PRを目的に開催され、本市からは、わっかない観光物産協会が取り扱っている珍味加工品や乳製品など22品目を、

枕崎市はカツオや芋焼酎など36品目を販売。初日から売れ行き好調で、販売開始1時間で完売した商品もあるなど、都庁職員をはじめ、都民の購買意欲に圧倒されました。また、両市の「観光パンフレット」とともに、本市は稚内農業協同組合の「稚内牛乳のむヨーグルト」を、枕崎市は「鰹節」をノベルティとして配付し、友好都市となった経緯や今年10周年を迎えたことなどをPRし、有意義な合同フェアとなりました。